

該当箇所	意見要旨	アンケート調査票における対応
1ページ	ユニバーサルデザインに関心が無い・知らない人は、このアンケートを見ないかもしれない。アンケートのタイトルを変えたほうが良いのではないかと。	タイトルを「だれもがくらしやすいまちづくりに向けたアンケート調査」に変更した。
	PCでの回答を推進するのは良いが、URLを短縮した方がアクセスしやすい。	可能な限りURLを短縮した。
1・3ページ	ふりがなを振っても、難しい言葉はわからない。なるべくわかりやすくしてほしい。	1ページの依頼内容を短くし、留意事項は別ページに移すことで文字量を減らした。また、なるべくわかりやすい表現にした。
2・3ページ	ユニバーサルデザインのPRを入れたり、QRコードを入れたりして、例えば結果の閲覧ができるような補足の情報を入れてはどうか。	
2ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のアンケートでもユニバーサルデザインを初めて聞いた人、言葉だけ知っている人が多かった。現在も、ユニバーサルデザインを知らない方、バリアフリーと混同している方がまだまだいる。ユニバーサルデザインのアンケートという名前だけで分からない人も多いただろう。アンケートの実行に合わせてユニバーサルデザインを説明する資料を入れて欲しい。知らない方に伝えて欲しい。 ・このようなアンケートでユニバーサルデザインを初めて知る方がいる。区がこんな取組をしてきたという情報がすぐわかるようにしてほしい。 	ユニバーサルデザインの説明と区取組紹介のページを作成した。
3・4・5ページ (問3・5・7)	外出頻度を調査した方がいいのではないかと。障がい属性も障がいの種類を聞いた方がいい。	外出頻度の設問を問7として追加し、問3・5で障がいの種類を選べるようにした。
6ページ (問11)	ユニバーサルデザインの言葉のイメージに関する設問に「公共交通機関の使い方が良くなった」という選択肢を入れてはどうか。	この設問はイメージを問うものであることと前回との比較ができるようにすることを考慮し、検討の結果、ご意見の選択肢は入れないこととした。
6ページ (問12)	大学でも合理的配慮が求められている。障がい者の配慮について読み取れるものを選択肢の中に入れてもいいのではないかと。	合理的配慮に関する設問を問12として追加した。合わせて、障害者差別解消法の解説も追加した。
7ページ (問15)	ユニバーサルデザインの取組が進んでいると思うかという設問について、思わない人が何を感じているのか知りたい。何か設問があると、回答しやすいのではないかと。	問15として追加した。
8ページ (問17)	<ul style="list-style-type: none"> ・人によって、それぞれの生活シーンで不便だと思うことが違うと思う。普段の生活の中で具体的に変わって欲しいと思うことは何かと聞くのはどうか。 ・一番最後に自由に書いてくださいと言っているが、自由に何を書いていいかわからないので、質問の仕方を工夫してもいいのではないかと。私はこんな事に困っているから変えて欲しいとか。 ・東京都の実態調査の結果を見ると、参考になるのは最後の自由意見。自由意見を書きやすくするのが大切。 	自由意見を書きやすくするため、文言を修正した。
資料3	障がいのある人とない人の意識は違うと思う。その属性を兼ね合わせた分析をして欲しい。	本人の属性別、および世帯類型別のクロス集計による分析を行った。